

防府市立玉祖小学校 P T A

平成24年度指定 子どもの「生きる力を育てる」

豊かな心と健やかな体の育成をめざした

家庭・学校・地域の連携

1 学校地域の概要

P T A会長 藤井 光彦
 学校長 竹内 幹雄
 児童数 321名
 会員数 242名（家庭数 教職員20）
 所在地 〒747-0066
 山口県防府市大字大崎1802番地
 TEL 0835-22-1613
 FAX 0835-22-8141
 E-mail tamano-e@c-able.ne.jp



P T A バザー【うどん店】平成24年10月

(1) 学校の特徴

本校のある玉祖地区は、防府市北西部、佐波川河口の西側に位置する田園地帯である。右田の平地は面積122.5平方キロメートル、およそ1万人の人口を有する農業地帯で、昔から耕地の中に散在した家々は、近年国道262号線をはじめとした主な道路を挟むように集中しだしたが、上・下右田、高井、大崎、佐野の5つの大字のうちには市街といえるほどの家並みがある所はまだない。第2種兼業農家が多く、農業をしている人には高齢者が多くなっている。西側にある右田岳（みぎただけ1図426m）山地は、決して高くはないが北風をさえぎって穏やかな冬の気候をもたらしてくれる。北側の右田岳や西目山（にしめやま2図312.4m）は、さまざまな形の大岩や絶壁が墨絵にでも描きたいような雄大な景色を作り出している。これは山を形作っている花崗岩が大きな節理を持つとともに風雨の力で砕けやすくなり、長い年月の間にたくさんの表土が麓に流出したために岩が剥き出しになったものである。防府西高等学校の裏山に当たる楞巖寺山（りょうごんじやま369.8m）まで連なっている。

玉祖神社（3図）は周防一ノ宮として有名である。例祭の前日の夜に「占手神事（うらてしんじ4図）」が行われる。神功皇后が三韓征伐の際に当社で軍の吉凶を占ったことに由来すると伝えられる。相撲のような所作を行う神事で、夜の神事、占手相撲とも呼ばれる。山口県指定の無形民俗文化財となっている。また天然記念物に指定されている黒柏鶏（5図）発祥の地と言われる。境内には顕彰碑が建ち、境内で数匹が飼育されている。特産品として、古くから現在も作っている佐野焼（6図）がある。江戸時代、佐野地区では約70軒が焼物に携わっていた。佐野焼は叩き【たたき】とよばれる独特の作り方で、荒物【あらもの】とよばれ



1 図



2 図



3 図



4 図



5図

る大型の壺や、小間物〔こまもの〕とよばれる土鍋など、主に日常生活で使う陶器を作っていた。佐野焼の生産が最も盛んになった大正時代には、120戸の農家が農業をしながら焼物を作っており、組合も作られていた。この組合では、他の土地の人を雇わないことや、佐野以外の場所で窯を開かないことなどを取り決めて、伝統的な作り方が他の土地に流れるのを防いでいた。作られた製品は佐波川から船で県内外の市場に運ばれ、瀬戸内海沿岸や島根県西部、北九州一帯、遠くは朝鮮半島にまで販売を拡げていた。しかし、戦後になると、焼物がプラスチックなどの製品にとってかわられるようになったために生産量が減少して、窯も減ってきている。



6図

児童の6～7割は、およそ25年前に宅地造成でできた自由ヶ丘団地から登校している。平成24（2012）年度の児童数は321名で、校訓「玉の心 和の心（7図）」のように、男女・学年を超えて仲がよく、協力し物事を進めていこうとする姿勢が身についている。児童会活動が盛んで、集会活動も高学年を中心に企画を進め、準備・運営は全校の子どもたちが一体となって楽しい集会となるように取り組んでいる。7年間の取組で、聴き合い学び合い等の学び方が主体的になり、学習したことを日々の生活の中でも実践していこうとする姿が見られるようになっている。

（参照「ふるさと読本 右田」2000年、wikipedia）



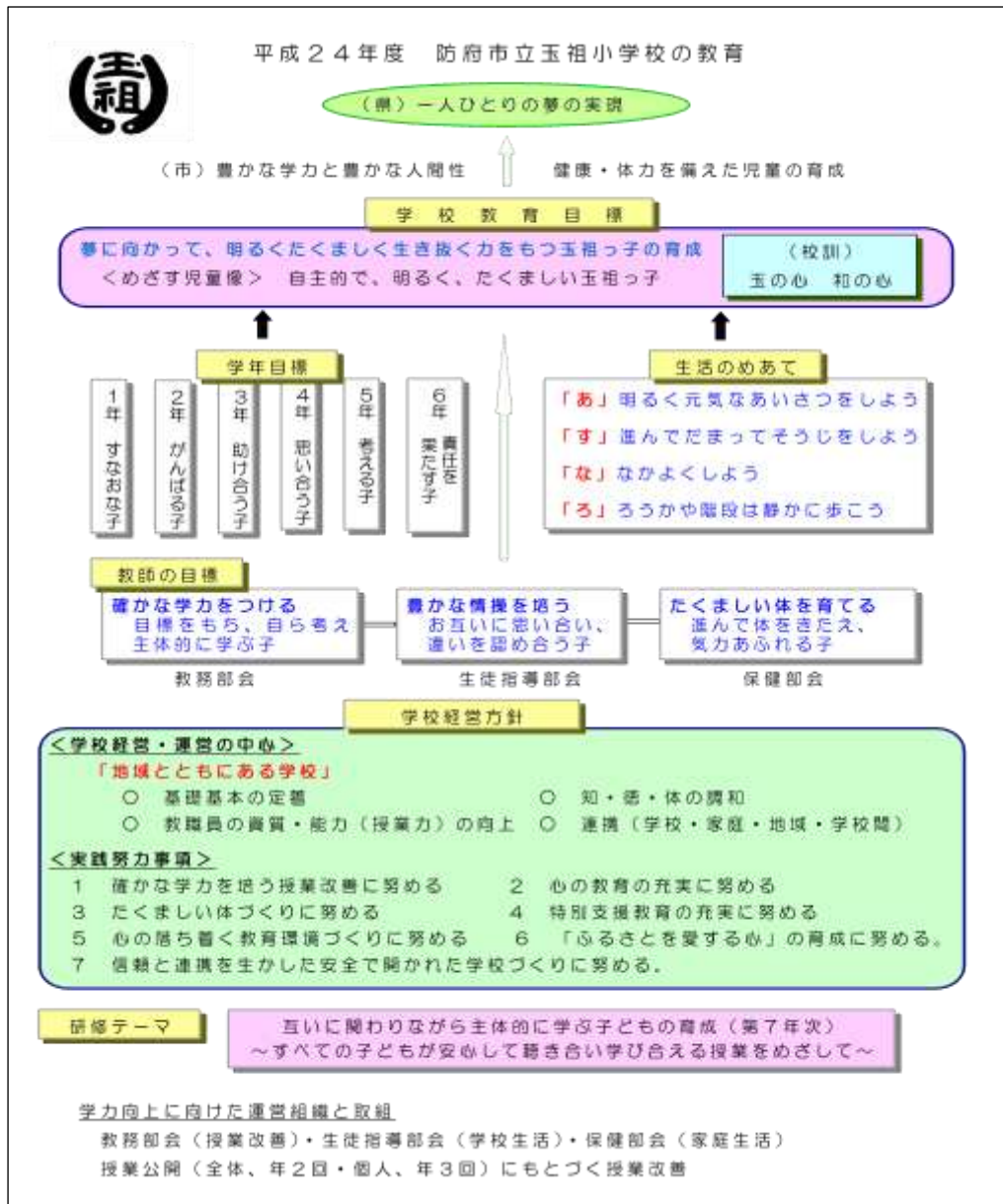
7図

（2）PTA活動の特色

上記のような学校環境や児童の実態を踏まえて、玉祖小PTAの役割と期待される成果は大きい。子どもと共に育つ「共育」、協働して育てる「協育」、故郷の中で育てる「郷育」を様々な行事を通して実践している。玉祖小PTAは、交通安全推進協議会、子ども会、母親クラブ、公民館、地区自治会、地区体育振興会、社会福祉協議会、老人会、右田地区伝承クラブ、保護司会、民生委員、主任児童委員等の地域自治組織とも密接不可分の関係を保ち、できるだけ連携して地域の活性化を図るように努力している。地域の方々は、学校の教育に対して大変協力的であり、地域の教育力も充実している。玉祖地区全体が一つのビッグファミリーを形成している。このため、子どもたちの意識は、単に「自分たちは玉祖小の子どもたち」というだけでなく「玉祖地区の子どもたち」なのだという自覚が随所に見られる。このように、玉祖小PTAの最大の特色は結束力の強さである。本年度は、コミュニティ・スクール、放課後子ども教室も実施され、玉祖小PTAが活躍する場が多くなってきており、学校・家庭・地域の連携により一層の力を入れる必要がある。 【参考資料：文部科学省】



(3) 学校の目標



2 PTAの組織と活動



玉祖小学校PTA活動

月	全体	執行部	保体福祉部	広報部	生活指導部
4	幹事会・合同部会 PTA 総会 二六台運動会	執行部会 入学式出席 二六台運動会	ベルマーク作業手順 ベルマーク一覧配付		見守り隊、強化日配付 「見守り隊」対面式
5	2・5 年田植え手伝い		ベルマーク研修会	1 学期広報部会 4 回 写真撮影 4 回	
6	運営幹事会	執行部会	学校保健委員会	写真撮影 3 回	
7	放課後子ども教室 発足	地区懇談会 執行部会	救急蘇生法講習会 保体福祉部会 インクカートリッジ集計・ 発送 学校環境整備作業案 内文配付	1 学期広報紙「たま ゆら」発行	地区懇談会
8	学校環境整備作業 第 50 回市民体育祭				
9	幹事会・合同部会 秋季大運動会 2・5 年稲刈手伝い	執行部会	秋季大運動会準備	写真撮影 9 回 2 学期広報部会 4 回	見守り隊、強化日配付 交通立哨アンケート まとめ発行(1 学期)
10	2・5 年脱穀手伝い 運営幹事会 友愛セール	PTA だよりの発行	学校保健研修会		
11	運営幹事会	執行部会	学校保健委員会 ベルマーク集計・発送		
12	子どもみこし	持久走大会手伝い 執行部会	持久走大会	2 学期広報紙「たま ゆら」発行	
1	二六台初日会 参観日 新旧運営幹事会 健全育成講演会	選考委員会の準備		3 学期広報部会 3 回 写真撮影 3 回	見守り隊、強化日配付 交通立哨アンケート まとめ発行(2 学期)
2	なわとび大会 幹事会・合同部会	仮入学PTA説明			
3		新旧地区幹事会 卒業式出席	ベルマーク集計・発送	3 学期広報紙「たま ゆら」発行	新旧地区幹事会

3 研究主題について

豊かな心と健やかな体の育成をめざした家庭・学校・地域の連携

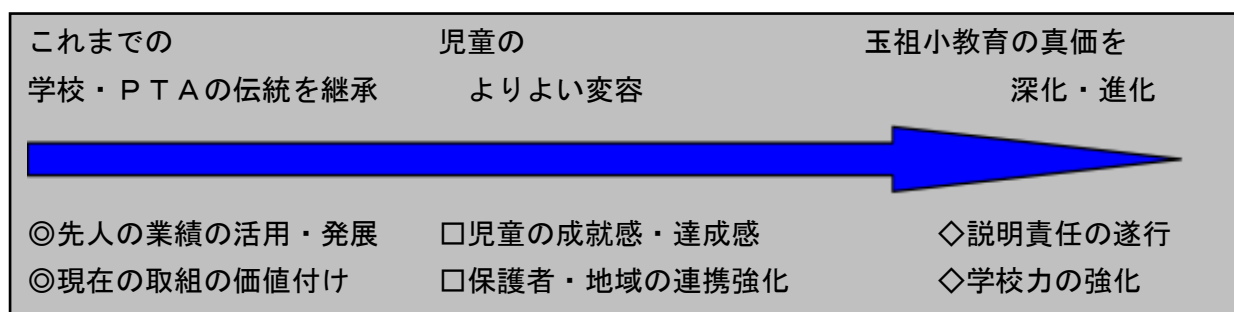
本校は1学年2学級、特別支援学級2学級の計14学級である。子どもたちのほとんどは、市内のさまざまな幼稚園、保育園から就学してきている。卒業生の多くは右田中学校へ進学するが、近年私立中学校や附属中学校へ進学する子どもが毎年10人前後いる。子どもの特性として、新たな課題に関心を示し、意欲的に学習に取り組むことができる。明朗・素直であり、友達と仲良く協力できる。運動・遊びを好み、二六台登りで体力の向上に取り組んでいる。

保護者はもちろん地域の方々の学校教育への感心は高く、地域の関係機関との協力体制は整っている。児童数及び家庭数の減少に伴い、P T Aが充実した教育支援活動を進めるためには、家庭・学校・地域の連携や協力体制は、今後も一層強化していく必要がある。P T A会員への理解や協力を得るためには、まずP T Aや学校の実態や取組をしっかりと伝えることが第一である。しかしながら、以前の学校評価アンケートにおいて、保護者の回答の中に「学校からの情報が少ない」という評価意見をいただいたことがあった。このことを受け、学校ではホームページを立ち上げられた。P T Aでは、情報発信を充実させてP T A活動をしっかり知らせ、その上で保護者や地域との連携を深めるための取組を進めることが重要であると考えた。

そこで、これまでの取組を見直しなが、さまざまな形で学校とのコミュニケーションを密にしたり、学校の教育活動へ保護者や地域の方の参加を呼びかけたり、地域の教育力を活用したりすることによって、家庭と学校と地域との連携協力をさらに強め、子どもたちの健全育成を図ってきた。

この度山口県 P T A 連合会の研究指定を受けたことを契機として、「子どもたちの豊かな心と健やかな体の育成をめざした家庭・学校・地域との連携」のあり方について、さらに研究を深め、実践を通して成果のあるものにしていきたいと考え、協働の場を多く設定し取り組むこととした。

■主題の追究と取組の方法



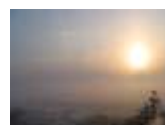
玉祖小P T Aの活動は、玉祖小学校が掲げている学校教育目標「夢に向かって明るくたくましく生き抜く玉祖っ子の育成」へ同じ方向に向かうベクトルでなくてはならない。

伝統の継承とは、ただ開校以来のこれまでの伝統を継承することではない。現時点でのP T Aの可能性の限界を見極めながら、新たな伝統を築き上げることである。そのためには、先人の業績の活用・発展と現在の取組の価値付けが大切と考える。これまでの先人の業績を確認し合い、よさを積極的に活用する。業績の取組をそのまま継続しながら創意工夫をしていく。

4 活動内容

活動名	内容（取組と実践）	補足資料
<p>花いっぱい の教室</p> 		<p>花ありがとうカード</p> 
<p>参加型授業 参観</p>		<p>多数の参観者の車でいっぱい。</p> 
<p>友愛バザー</p>		
<p>学校支援ボ ランティア</p>		<p>苗植え・稲刈り・社会見学などで授業支援。</p>
<p>防府市小学 校秋季教育 研究大会</p>		<p>先生方が全員授業。市内から150名が来校。駐車場案内・整理に協力。</p>
<p>読み聞かせ</p>		<p>読み聞かせの会の多くは保護者。学力向上に役立つ。</p>
<p>放課後子ども 教室 (7月発足)</p>		<p>PTA会員の代表が必ず放課後子ども教室に参加・支援。地域とPTAによる連携を行っている。</p>

初日を迎える会



二六台開設運営委員会、子ども会、スポーツの連携による。

どんど焼き



子ども会、玉祖神社によるどんど焼きにPTAが応援。

5 成果と課題

(1) 現在の取組の価値付け

今PTAが活動していることを目的、ねらい、成果、効果を考えながら、教育的な価値づけをするとともに地域活性化の視点からも活動を見通していくことができた。自らの組織の活性化のためには、PTAの理念や歴史を知りつつ、現在の価値を再構築することが大切である。この度の研究指定により、玉祖小学校PTAの活動の価値が明確になってきている。

(2) 児童のよりよい変容

児童のよりよい変容とは、子どもがよりよく変わることである。そのためには、児童の成就感・達成感と保護者・地域の連携強化が不可欠である。

■児童の成就感・達成感

子どもが変わったことを知るには、体験を通して子どもから出てきた「つぶやき」や子どもが心を込めて書いた作文に表れる。また、目の輝きとなり、行動になって表れる。人とのつながりの中で、「やったぞ」「できた」という成就感や達成感をもたせることが一番大事である。成就感や達成感が満ち満ちた時こそ、感動となり自信につながっている。

■家庭・学校・地域の連携強化

子どもは人と人のかかわりの中で育っていく。保護者がひとつになることや地域がまとまるのが肝要である。家庭と学校と地域が一体となった時こそ、子どもは最大限に伸び、地域に感謝し、ふるさとを誇りに思う。子どもがふるさとを大事にし、大切にしようとするか、しないかは、保護者・地域の連携強化にかかっている。

(3) 玉祖小教育の深化・進化

伝統ある玉祖小教育を新たな伝統を加味しつつ、深く根付かすことと、さらに進展させることが大切である。そのためには、PTAが学校支援への強化をさらに図る必要がある。

玉祖小学校PTA
会長 藤井光彦

本年度山口県PTA連合会の研究指定を受け、会員の皆様の地道な活動を、ここにまとめることができました。これからも、玉祖っ子のよりよい成長と会員の皆様のご多幸、地域の発展のため、会員一丸となって邁進する所存です。ますますのご指導を賜りますよう、よろしくお願い致します。

平成25年3月吉日

■説明責任の遂行

PTAが集まるPTA行事では、行事の目的とねらいを明確にし、PTA会員がやる気を出して取り組もうとする意欲を大切にしている。その際、学校から玉祖小教育の進捗状況を説明してもらったり、PTA活動の取組の推し進め方を確認したり、改善や変更等を明瞭に伝えたりすることで、説明責任を遂行している。この説明責任の遂行は、PTA会員相互間の信頼関係を築くために必要と考えている。それはさらに、PTAと学校との信頼関係の醸成になくてはならないものである。玉祖小PTAでは、この点に最も力を入れているところである。

■学校力の強化

学校力とは、教師の指導力や力量、児童への教育力だけではなく、PTAを巻き込み、地域全体をまとめる力である。学校が保護者から相談を受けたり、地域の課題を解決することを頼られたりすることで、学校の力が、地域全体に広がり、学校を中心としたコミュニティを形成することが理想である。その理想に近づくために、地域の課題を積極的に教育の力で解決していく玉祖小PTAでありたい。学校教育を支援する大きな意味は、この点にある。わが子の教育に責任をもって全教職員一丸となってあたってくれる玉祖小学校の先生方であるから、私たちは、精一杯の支援・応援をしていきたい。PTAが元気に頑張らないと、地域はよくなるらない。

【参考資料】**第 62 回全国小・中学校PTA新聞コンクール PTA広報の部 奨励賞**